

令和8年度 「精選国語」 シラバス

教科	国語	科目	精選国語	単位数	3
学級	A～S	教材・副教材	論理国語（大修館書店） 文学国語（数研出版） 新訂 国語図説〔六訂版〕（京都書房） 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級（桐原書店） 読み解くための現代文単語（文栄堂）【B組のみ】		

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、評論や小説の読解を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力	自己と他者	人はなぜ贈与するのか	・対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえる。 ・「贈与」という行為の意義を読み取り、人間社会について考えを深める。	授業態度 提出物 授業内発表 小テスト 定期考査
	5	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	平成の小説	ひよこの眼 中間考査	・「私」は幹生の「目」をどのようにとらえていたか、その変化をまとめる。 ・「私」はどのような人物だと考えられるか、本文の出来事を踏まえてまとめる。	
	6 7	知識・技能 思考力・判断力・表現力	メディアの変容	ポスト真実時代のジャーナリズムの役割 期末考査	・筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。 ・メディアの現状と課題、マスメディアの役割について考える。	
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	明治の小説	舞姫	・豊太郎の置かれている状況を四つに分け、それぞれの時期で豊太郎が望んでいた生き方をまとめる。 ・豊太郎の「弱くふびんなる心」は、彼のどのような生き方に表れているかを考える。 ・エリスの豊太郎に対する心情変化をまとめる。	授業態度 提出物 授業内発表 小テスト 定期考査
	10			中間考査		
	11					
	12			期末考査		

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力	政治と社会	多数決を疑う 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ・意思決定のしくみに興味をもち、社会制度のあり方を考える。 	授業態度 提出物 授業内発表 小テスト 定期考査

令和 8 年度 公民科 「政治経済」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 3年 ABDEFGHIS・選択者
教科書	高等学校 政治・経済(第一学習社)	副教材	政治経済 2026(とうほう)

1 科目の目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	現代日本の政治経済	日本国憲法と現代政治のあり方	【知・技】政治・法・人権について理解している 【思・判・表】法の意義・人権の保障・民主政治のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
	6 7	現代日本の政治経済	法の支配と立憲主義	【知・技】政治・法・人権について理解している 【思・判・表】法の意義・人権の保障・民主政治のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
第2学期	9 10	現代日本の政治経済	望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方	【知・技】地方自治と政党の役割について理解している。 【思・判・表】住民の権利・選挙の課題・主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
	11 12	現代日本の諸課題の探究	持続可能な財政および租税のあり方	【知・技】財政・租税について理解している。 【思・判・表】経済活動について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
第3学期	1	現代の国際政治・社会国際 社会の諸課題の探究	相互依存関係が深まる国際経済の特質 国際経済において求められる日本の役割	【知・技】国際分業・国際収支統計・為替相場について理解している。 【思・判・表】日本の対外経済取引・地域的経済統合について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

単位数	4	学科・学年・学級	地歴公民科・3年・A～S
教科書	詳説 日本史	副教材	

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	A-(1)、(2) 原始・古代の日本と東アジア	黎明期の日本列島と歴史的環境	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	5 ～ 7	A-(3) 古代の国家・社会の展開と画期	古墳時代から平安時代後期まで	国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を考察する。中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、世界のなかの日本の歴史をとらえる。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第2学期	9 ～ 10	B 中世の日本と世界	鎌倉時代から室町時代	貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
	10 ～ 12	C 近世の日本と世界	織豊～江戸末期	織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などから、中世から近世への時代の転換を考察する。 幕藩体制の確立、地方の社会・産業の変容、大衆文化の普及などを探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート
第3学期	1 ～ 2	D 近現代の地域・日本と世界		明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を考察する。 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を探究する。	ペーパーテスト パフォーマンス評価 振り返りシート

令和8年度 地理歴史科 日本史基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次選択者
教科書	詳説 日本史(山川出版社)	副教材等	最新 日本史図表(第一学習社)

2 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第11章 近世から近代へ 1. 開国と幕末の動乱 2. 幕府の滅亡と新政府の発足	<p>【知・技】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から定説に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>【思・判・表】日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】日本の開国にかかわる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追求しようとしている。 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
5 7	第12章 近代国家の成立 1. 明治維新と富国強兵 2. 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1. 日清・日露戦争と国際関係 2. 第一次世界大戦と日本 3. ワシントン体制	<p>【知・技】明治政府による中央集権化の諸政策と士族の反乱の終焉、諸外国との対外関係について理解している。 自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 条約改正の完成、東アジアへの勢力拡張などについて読み取り、この時期の戦争の背景や、日本の国際的地位の変化を理解している。 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経緯や民族運動の高揚に着目し、国大での社会運動がおこった背景と政党政治の成立について理解している。</p> <p>【思・判・表】諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて考察し、根拠を明らかにして表現している。</p> <p>【主】明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追求しようとしている。 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追求しようとしている。対外的な戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
9 12	第14章 近代の産業と生活 1. 近代産業の発展 2. 近代文化の発達 3. 市民生活の変容と大衆文化 第15章 教皇と第二次世界大戦 1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭 3. 第二次世界	<p>【知・技】産業の発達の背景に影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 政治・経済体制の変化に着目して、満州事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。</p> <p>【思・判・表】地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 当時の社会が抱えた矛盾と満州事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
		<p>【主】産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追求しようとしている。</p> <p>当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追求しようとしている。</p> <p>満州事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追求しようとしている。</p> <p>日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追求しようとしている。</p>	
I	<p>第16章 占領下の日本</p> <p>1. 占領と改革</p> <p>2. 冷戦の開始と講話</p>	<p>【知・技】第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。</p> <p>占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。</p> <p>【思・判・表】戦後の諸改革が連合国の対日占領政策に基づくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果について根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主】現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果を課題について、主体的に追求しようとしている</p> <p>連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追求しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物
	<p>テーマ史①</p> <p>「食と日本人」</p>	<p>【知・技】食生活の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、時代の背景や生活の様子などを理解している。</p> <p>【思・判・表】時代ごとの民衆の生活における諸課題を踏まえ、食生活の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】日本の食生活にかかわる諸事象を当時の社会情勢を踏まえて考察し、食生活の変化について主体的に追求しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテスト ・グループワーク ・発表 ・製作物

令和 8 年度 「 世界史探究 」 シラバス

教科	地歴公民科	科目	世界史探究	単位数	4 単位
学級	3 年次選択者	教材・副教材	世界史探究（山川出版）、タペストリー（帝国書院）		

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 1 学期	4 5	諸地域の歴史的 特質の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・文明の成立と古代文明の特質 ・中央ユーラシアと東アジア世界 ・南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・西アジアと地中海周辺の国家形成 	<p>【知・技】 世界各地で多様な支配観念（王権）が形成されたことを理解している。 古代オリエント文明とその周辺でおこなわれた神権政治の多様性を理解している。 中国の古代文明における神権政治の多様な展開とその現代的影響を理解している。 南アジアの人々が解脱などの内面的な信仰だけでなく、政治的文化的な働きを求めていたことを理解している。 ギリシア民主政と現代の政治制度との違いを理解している。</p> <p>【思・判・表】 貧富の差の拡大や仕事の分業化などの社会的関係を多面的・多角的に考察し、支配観念の形成について表現している。 中国の古代文明における神権政治について、その推移や多様な展開の比較、現代的影響に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 南アジアの王や宗教家、一般の人々が仏教に求めた働きを比較して、宗教に求められた働きについて多面的・多角的に考察し、表現している。 元首政、専制君主政、東西分割と柔軟に対応したことや、共和政の伝統を尊重・維持してきたこと、帝国の強大さの表象など長期に繁栄した要因を理解している。</p> <p>【主】 神権政治にもとづく専制的な政治が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 諸地域世界の学習を振り返り、生業、身分、階級、王権、宗教、文化・思想などの学習の視点や方法について確認し、他の諸地域世界について、学習の視点や方法などのつながりを見出している。 仏教やヒンドゥー教が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための宗教のあり方を主体的に追究しようとしている。 あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
	6 7	諸地域の交流・ 再編	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・ヨーロッパ世界の変容と展開 	<p>【知・技】 イスラーム教が西アジア、北アフリカへの領域拡大と並行して伝播した経緯と、各地域の政治、文化の変容について理解している。 教皇権の伸長、西ヨーロッパの拡大運動と商業の発達、中世都市の誕生など、西ヨーロッパ中世の枠組みや体制が形成されたことを理解している。 中世西ヨーロッパの特徴である、封建制、王権の弱体状況を理解するとともに、それらが崩れて近代国家形成へ向かう状況を理解している。</p> <p>【思・判・表】 イスラーム教が西アジア・北アフリカを変容させていく状況を多面的・多角的に考察し、再定義している。 キリスト教を軸とするヨーロッパ世界の特徴を多面的・多角的に考察し、改めて定義している。 西ヨーロッパの封建社会の中で展開した、教会制度・拡大運動・商業の発達の状況を、具体的に考察し定義している。 中世西ヨーロッパの文化のあり方を、ビザンツ帝国やイスラーム圏との関連を多面的・多角的に考察し、定義している。</p> <p>【主】</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

				<p>イスラーム世界の拡大が、伝播した地域にどのような影響を与えたか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、イスラーム教の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。</p> <p>中世ヨーロッパ世界が、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。</p>	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	諸地域の交流・再編、結合・変容	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の動向 ・産業革命と環大西洋革命 	<p>【知・技】 唐から宋にかけて、支配者層が入れ替わり、周辺所民族の侵入が中国社会に与えた影響を多面的に理解している。 ポルトガルやスペインの海外進出の本格化が、「世界の一体化」の端緒となり、のちの本格的な世界の結びつきへとつながってゆくことを理解している。 ルネサンス運動の多様性と、後のヨーロッパ社会や現代に与えた影響を理解している。 主権国家体制の成立の意義と三十年戦争の与えた影響を理解している。 フランス革命とナポレオンの支配の特色や多様性について理解している。</p> <p>【思・判・表】 唐から宋にかけての支配者層の入れ替わりや、周辺所民族との関りが中国社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、定義している。 ヨーロッパがしきりに海外進出を進めた16世紀の東南アジア、東アジアの社会の特色や多様性を理解している。 ルネサンス運動を多面的・多角的に考察し、改めてルネサンス運動を定義している。 ヨーロッパ各地でおこなわれた宗教改革とカトリック改革や宗教対立がヨーロッパ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、宗教改革を定義している。 フランス革命とナポレオンの支配について多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について定義している。</p> <p>【主】 モンゴル帝国の拡大が交易に与えた影響や、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、モンゴル帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 主権国家体制の形成と地球規模の交易が、いかに人々の生活を豊かにし安定させるものであったのかを話し合い、現代の社会において、よりよい社会や国際関係のあり方を主体的に探究している。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
	11 12	諸地域の結合・変容	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動 	<p>【知・技】 ウィーン体制のもとで構築されたヨーロッパの国際秩序の特質と、その崩壊の過程を理解している。 領土の拡大にともなう、奴隷制をめぐる南北の対立を背景に勃発した南北戦争の経過と、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について理解している。 オスマン帝国の弱体化と東方問題、列強の経済的支配と帝国が取り組んだ近代化をめざす諸改革、ロシアとイギリスの勢力争いに巻き込まれたイラン、アフガニスタンの状況を理解している。</p> <p>【思・判・表】 ウィーン体制の形成とその特質、ウィーン体制が19世紀のヨーロッパに及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、その歴史的意義を表現している。 クリミア戦争後のヨーロッパ各国の情勢や、ビスマルクが再構築した列強体制、国際運動やヨーロッパの拡大について多角的・多面的に考察し、ヨーロッパの国際情勢の変化について表現している。 ヨーロッパ諸国の進出と反乱のなかで近代化にとりくんだ清、近代化とともに海外進出を進めた日本、日中両国が勢力を争った朝鮮について、多角的・多面的に考察し、表現している。</p> <p>【主】 欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。 19世紀のヨーロッパ諸国の干渉や植民地政策がアジアの諸地域に及ぼした影響と、アジア諸地域の対応について話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	地球世界の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と世界の変容 ・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界 	<p>【知・技】 第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響を理解している。 植民地支配を維持しようとする列強の進出に抵抗する、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域の民族運動を理解している。 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊などをもとに、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 第二次世界大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど諸地域の変容を構造的に理解している。</p> <p>【思・判・表】 19世紀末から20世紀初めの国際関係と、それを背景として起こった第一次世界大戦とロシア革命を多角的・多面的に考察し、表現している。 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解し、改めて世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊を定義している。 第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し、改めて第二次世界大戦を定義している。</p> <p>【主】 第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

令和 8 年度 「 世界史基礎 」 シラバス

教科	地歴公民科	科目	世界史基礎	単位数	2 単位
学級	3 年次選択者	教材・副教材	世界史探究（山川出版）、タペストリー（帝国書院）		

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第 1 学期	4 5	諸地域の交流・再編	・大交易・大交流の時代 ・アジアの諸帝国の繁栄	<p>【知・技】 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。</p> <p>【思・判・表】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見い出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
	6 7	諸地域の交流・再編、結合・変容	・近世ヨーロッパ世界の動向 ・産業革命と環大西洋革命	<p>【知・技】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 産業革命が 18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。</p> <p>【思・判・表】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等

第2学期	9 10	諸地域の結合・変容	・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・アジア諸地域の動揺	<p>【知・技】 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。</p> <p>【思・判・表】 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 マムルークの掃蕩を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について定義している。</p> <p>【主】 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
	11 12	諸地域の結合・変容	・帝国主義とアジアの民族運動 ・第一次世界大戦と世界の変容	<p>【知・技】 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦をもたらした結果などともあわせて理解している。 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。</p> <p>【思・判・表】 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	諸地域の結合・変容	・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	<p>【知・技】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。</p> <p>【思・判・表】 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や・介石「盧溝橋事件に関する盧山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主】 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表・レポート提出

				第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
--	--	--	--	---	--

令和8年度 「古典研究」シラバス

教科	国語	科目	古典研究	単位数	2
学級	3年次	教材・副教材	古典探求（文英堂） 新訂国語図説（啓隆社）		

1 科目の目標

言葉による見方や考え方を、言語活動を通して国語で的確に理解し表現する資質・能力を目指す。
そして日常生活において有意義な言語活動ができるようにさせる。

2 学習計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	古典に関する理解を深める。	上代の文学を研究する。 漢文では思想家の作品を研究する。	万葉集や古事記などの代表的な作品を研究する。 漢文では孟子の代表作を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	5					
	6	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	人の生き方を読み取る。	中古の文学（その1）を研究する。	源氏物語の有名な章段を研究する。 漢文では荘子の代表作を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	7					
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	先人の世界を理解する。	中古の文学（その2）を研究する。 漢文では李白と杜甫の詩を研究する。	枕草子の有名な章段を研究する。 漢文では李白と杜甫の有名な詩句を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	10					
	11	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	見方や考え方を広げる。	中世の文学を研究する。 漢文では韓非子の作品を研究する。	徒然草の有名な章段を研究する。 漢文では韓非子の代表作を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物
	12					
学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	文化について考える。	近世の文学である俳諧について研究する。 漢文では論語の有名な章句を研究する	去来抄の有名な章段を研究する。	・授業態度 ・小テスト ・グループ活動 ・提出物

令和 8 年度 数学科 数学研究 α

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科・スポーツ科学科 3年次 自由選択
教科書	なし	副教材等	Study-up ノート 数学 I +A (数研出版)

2 科目の目標

数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し、表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学の良さを認識し、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 ○数学 I について 数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>○数学 A について 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>【観点の到達目標】 ○数学 I について 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>○数学 A について 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p>	<p>【観点の到達目標】 ○数学 I について 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>○数学 A について 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・数学 I・A における基本的な概念や原理、法則を理解できる。 ・基本的な概念や原理、法則にしたがって基本的な計算ができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・問題を数学的に考察し解法の見通しをもてる。 ・解法の見通しにしたがって答えを求められる。 ・求めた答えが問題の答えとして適切であるかを振り返り判断できる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・積極的に授業に取り組む姿勢や粘り強く問題に立ち向かう姿勢が身につく。</p>
<p>【評価の方法】 定期考査</p>	<p>【評価の方法】 定期考査</p>	<p>【評価の方法】 ・演習ノートの取り組み内容 ・発表の発言内容 ・科目に取り組む姿勢 ・授業内小テスト ・ポートフォリオ など</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5	～数学Ⅰ～ 第1章 数と式	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに, 簡単な無理数の計算をすることができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに, 一次不等式の解を求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し, 簡単な命題の証明をすることができる。 ・問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 一次不等式を問題解決に活用することができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し, 問題解決にそれらを活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
6	第3章 二次関数	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ・二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し, 二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次関数の式とグラフとの関係について, コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ・二つの数量の関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 問題を解決したり, 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し, 問題解決にそれらを活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
7	第4章 図形と計量	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し, 定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 問題を解決したり, 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し, 問題解決にそれらを活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
9	第5章 データの分析	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散, 標準偏差, 散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして, データを表やグラフに整理したり, 分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し, 適切な統計量やグラフ, 手法などを選択して分析を行い, データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し, 主張の妥当性について, 実験などを通して判断したり, 批判的に考察したりすることができる。 	3の【評価の方法】に準ずる

		<p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	
10	～数学 A～ 第1章 場合の数と確率	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
11	第2章 図形の性質	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる
12			
1	第3章 数学と人間の活動	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。 ・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 ・パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	3の【評価の方法】に準ずる

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>・数学の授業は、1時間ごとの積み重ねで進んでいきます。</p> <p>欠席や欠で出席できなかった授業は、自分で学習し、わからないときは、すぐに先生に質問し理解するようにしてください。</p> <p>・数学で最も重要なことは、計算することではなく考えることです。数学を通して、論理的な考え方やその表現方法を学ぶことができます。</p> <p>多くの問題を解き、自分で考える力を身につけてください。</p> <p>・授業では、説明、例題、演習のくり返しです。</p> <p>説明、例題でしっかりと理解し、そして演習では、何も見ずに解けるようになるまで練習してください。</p> <p>・ノートは板書を単に写すだけではなく、例題の解法等において、手順やそこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。</p> <p>・図やグラフは単にきれいにかくのではなく、ポイントをうまく表現できるようにかくことも理解を深めることになります。</p> <p>・例題を参考に積極的に練習問題等に取り組み、繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。</p> <p>・授業の開始のチャイムが鳴るまでに、授業に必要な道具を準備して各自着席を完了し、授業がすぐ始められるようにしてください。</p> <p>・欠席をした場合は、その授業について十分に学習し、理解しておくことが大切です。必要であれば補習の申し出をすること。</p>

令和8年度 数学科 「 数学B 」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・3年次・選択
教科書	新編数学B (数研出版)	副教材	3 TRIAL 数学B (数研出版)

1 科目の目標

数列, 統計的な推測について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2 学習計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 5 6 7 9 10	第1章 数列	【知・技】数列の基礎的な概念と知識を理解している。等差数列、等比数列など、簡単な数列について一般項や第n項までの和について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる。 【思・判・表】記号 Σ , 階差数列やいろいろな数列, 漸化式, 数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できる 【主】数の並び方に興味をもち, その規則性を発見しようとする意欲がある。数列の和を工夫して求める方法に興味をもち, 数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など
11 12 1	第2章 統計的な推測	【知・技】確率変数の期待値, 分散, 標準偏差を求めることができる。反復試行の結果を, 二項分布を用いて表すことができる。標準正規分布表を用いて, 正規分布に関する確率の計算ができる。 【思・判・表】確率変数の期待値, 分散, 標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。具体的な事象を二項分布として捉え, 考察することができる。正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 【主】確率変数の期待値, 分散に関する種々の公式を, その定義や既知の公式を用いて導こうとする。二項分布に従う確率変数の期待値, 分散, 標準偏差の公式について, 確率分布の定義から導こうとする。現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち, 様々なデータについて考察しようとする。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・授業内発表など

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業中はその内容を理解することに集中してください。もしもわからないことが出てきた場合には, そのままにせず, すぐに自分で教科書を読んだり, 人に聞いたりすることで解決してください。1つわからないことがあると, それが原因で多くの内容がわからなくなってしまいます。
- ・授業だけでは問題を解く時間を十分にとれないことがあります。そのため, 家庭での予習と復習によって問題を解く時間を十分にとってください。
- ・授業開始時には, 教科書・プリントファイル・問題集を準備し着席完了しておいてください。
- ・欠席した場合は, その分のノートを級友から借りるなどして次の時間までに学習しておいてください。
- ・授業で学習した内容について副教材(問題集)を積極的に利用し, 演習を重ねておくことが大切です。
- ・提出物等の期限は厳守でお願いします。内容もしっかり行ってください。

令和8年度 「理科 生物 VW」 シラバス

教科	理科	科目	生物	単位数	4単位
学級	3年 A、D、E、G、H、I組	教材・副教材	教科書：高等学校生物（第一学習社） 副教材等：セミナー生物（第一学習社）		

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことにより、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5	第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化	1. 生命の起源と細胞の進化 2. 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 1. 生物の系統 2. 人類の系統と進化	原始地球の環境における有機物の生成に関する実験にもとづいて、生命の起源に関する考えを理解する。DNA の塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを理解する。人為分類と系統分類の違い、原生生物、植物、菌類、動物の特徴を理解する。 植物・動物の系統関係を理解する。二名法による種の表し方を理解する。 交配実験の結果などの資料にもとづいて、連鎖している遺伝子の組み合わせは変化しうることを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
	6 7	第3章 細胞と分子 第4章 代謝	1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 生命現象とタンパク質 1. 代謝とエネルギー 2. 炭酸同化 3. 異化	生物を構成する主な物質は、水、タンパク質、脂質、炭水化物であることを理解する。タンパク質は、アミノ酸がペプチド結合によって多数つながり、一次構造、二次構造、三次構造、四次構造を形成することを理解する。・酵素の基質特異性を立体構造や補酵素と関連づけて理解する。代謝（同化と異化）におけるエネルギーの流れについて理解する。 カタラーゼの働きを確かめる実験を正しく実施し、タンパク質の立体構造は、機能と密接に関連していることを考察する。・酵素反応の阻害には、競争的阻害と非競争的阻害があることを理解する。緑葉に含まれる光合成色素を分離し、分離された色素の色と Rf 値から色素の種類を推測する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9 10	第5章 遺伝情報とその発現 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用	1. DNA の複製 2. 遺伝子の発現 1. 遺伝子の発現調節 2. 発生と遺伝子の発現	DNA の構造と複製、転写と翻訳による遺伝子の発現調節について理解する。 ウニ・ショウジョウバエ・カエルの受精や発生メカニズムについて理解する。 遺伝子の構造や発現を解析する方法、遺伝子の機能を解析する方法を理解する。 真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。選択的スプライシングによって、1種類の mRNA 前駆体から2種類以上の mRNA がつくられることを理解する。 原核生物におけるラクトースオペロンの発現調節について理解する	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

11 12	第8章 動物の反応と行動 第9章 植物の成長と環境応答	1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動 1. 植物と環境 2. 植物の一生と植物ホルモン	動物は受容器で刺激を受容し、中枢神経系を経て効果器に情報を伝えることで、刺激に対して反応していることを理解する。ニューロンの基本構造を学び、ヒトの神経系の構成について理解する。静止電位と活動電位が生じるしくみを、チャネルの働きとイオンの流れと関連づけて理解する。被子植物の配偶子形成と重複受精について学び、被子植物の胚発生の過程を理解する。 刺激が中枢に伝わる過程とその特徴について理解する。桿体細胞と錐体細胞の分布や、吸収する光の特徴を理解する。耳の構造と聴覚が生じるしくみを理解する。生得的行動と習得的行動の特徴を、神経回路の変化の有無の違いから考察する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第10章 生態系のしくみと人間の関わり 1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産と消費 3. 生態系と人間生活		個体群と相互作用について理解する。・ニッチの概念を理解する。生態系における物質生産について理解する。生物多様性の3つのとらえ方を理解する。 層別刈取法によって生産構造を調べ、生産構造図を考察する。物質収支に関する資料にもとづいて、捕食-被食の関係に伴うエネルギーの流れを考察する。化学肥料の使用による植物プランクトン量の変化などの資料にもとづいて、化学肥料が生態系にどのような影響を与えるかを見いだして理解する。	定期考査 小テスト レポート 課題 授業態度

3 評価の観点

知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・知識技能…定期テスト（小テスト） ・思考判断表現…定期テスト（小テスト）、レポート、課題 ・主体的に学習に取り組む態度…コメントシート、提出物
--

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ①理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組みましょう。 ②プリントを管理するためのファイルを用意して下さい。 ③課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかりましょう。 ④実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意してください。
--

令和8年度 理科 「基礎理科」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	普通科／スポーツ科学科 3年次・選択Ⅴ, X
教科書		副教材	

1 学習の到達目標

身近なものを題材に科学的に探究し、日常にあふれる身近な事物・現象について基本的な概念や原理・法則についての理解を深める。また、科学技術の在り方やエネルギー問題について市民が意思決定をするために必要な科学的な知識、能力、態度を身につける。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	4 5	物理分野	○実験 01 紙飛行機の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実験レポートの書き方、プレゼンテーションの作り方、発表の仕方について理解する。 ・紙飛行機を作成して、紙飛行機がなぜまっすぐ飛ぶことができるのかを実験を通して理解する。 ・紙飛行機が飛ぶ原理をもとに、さらに飛距離を伸ばすための工夫をする。 	レポート 課題 発表 振り返り シート 授業態度
	6 7		○実験 02 糸電話の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・糸電話を作成して、音がどのように伝わるのかを実験を通して理解する。 ・条件（材料など）を変えたとき、音の伝わり方にどのような違いが生まれるか調べる。 	
2	9 10	生物分野	○実験 03 味覚の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ミラクルフルーツやギムネマ茶を用いて、味覚をつかさどる味細胞と受容体の仕組みについて理解する。 ・他に味覚を変化させる方法があるのか仮説を立て、実際に実験を通して検証する。 	
	11 12		○実験 04 自由課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実験班ごとにテーマを設定し、実験・観察に取り組む。 	
3	1				

3. 評価の観点

知識・技能	科学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付けようとする。
思考・判断・表現	実験・観察などを通して、科学的な考えを深めるとともに、表現しようとする。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連について興味を持ち、目的意識をもって実験・観察に取り組む。

4. 評価の方法

- ・知識技能 … レポート、課題、発表（スライド・動画）、振り返りシート
- ・思考判断表現 … レポート、課題、発表（スライド・動画）、振り返りシート
- ・主体的に学習に取り組む態度 … レポート、課題、発表（スライド・動画）、振り返りシート

5. 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- 授業や実験は物理実験室で行います。休み時間中に移動すること。チャイム初めには着席。
- 実験ノートとボールペンを各自用意すること。
- 実験ノートとボールペン、タブレットを毎回持ってくること。
- 実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意すること。
- 積極的に実験に取り組むこと。
- 理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組むこと。
- レポートやプレゼンテーション等の課題の提出期限を必ず守ること。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツⅢ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	3 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。</p>
--

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p>	<p>【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高め、新たに得意技を身に付けた動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅠ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析</p>	<p>【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析</p>	<p>【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名 柔道	【知・技】(知)学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析)	
5		【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析)	
6	剣道	【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(行動観察)	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
1			

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ I

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	3 年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。</p>
--

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p>	<p>【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高め、新たに得意技を身に付けた動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツ I」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析</p>	<p>【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析</p>	<p>【評価の方法】 ・記録測定 ・行動観察 ・ワークシート分析</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名	【知・技】(知)学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析)	
5	男子・器械体操(鉄棒) 女子・陸上競技(跳躍・投擲)	【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(行動観察)	
6	水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)	【知・技】(知)学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析)	
7		【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(行動観察)	
9	水泳(クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)	【知・技】自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。(行動観察・スキルテスト・ワークシート分析)	
10	男子・陸上競技(跳躍・投擲)	【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析)	
11	女子・器械運動(平均台)	【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(行動観察)	
12	男子・器械運動(鉄棒) 陸上競技(長距離走)		
1	陸上競技(長距離走)	【知・技】学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。(行動観察・ワークシート分析) 【思・判・表】学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。(ワークシート分析) 【主】学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。(行動観察)	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 8 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を發揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に發揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたって運動を豊かに実践することを目指すことについて、身に付けた動きを高めたり、新たに得意技を身に付けて、攻防や動きができる。また、記録や技に挑戦したり、簡易化されたルール制限を次第に正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりする動きができる。技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 3月	単元名 バドミントン 卓球	<p>学習内容(前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本練習 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容, 評価の方法について理解する。【知・技】 ・バドミントン, 卓球のルールや用語を理解する。【知・技】 ・ラケットの操作や, サーブなどの正しい動作を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームでおこなう知識を身につける。【思・判・表】 <p>学習内容(後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 ・簡易ゲーム <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダブルスでは, パートナーとの攻防の際の連携/パターンを理解して, ゲームに応用する。【思・判・表】 ・個人やチームの特長を活かして, 有効にゲームを展開できるようにする。【思・判・表】 ・競技のすすめ方や, 競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し, 試合を適切に運営すること。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>
4月 から 3月	ソフトボール	<p>学習内容(前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・基本動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容, 評価の方法について理解する。【知・技】 ・競技のルールや用語を理解する。【知・技】 ・バットやグローブの操作, 安定した用具の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける。【思・判・表】 <p>学習内容(後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用動作 <p>評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人やチームの特長を活かして作戦を立て, 実践の場面を想定しながらの練習を行う。【知・技】 ・競技のすすめ方や, 競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し, 試合を適切に運営すること。【思・判・表】 	<p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p> <p>スキルテスト ワークシート分析 行動観察</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス, 授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく, 新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず, 仲間の気持ちや体の状態に目を向け, 問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し, こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また, 爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始まります, 活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また, 見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツⅣ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科3年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅣ」で取り上げるダンスはイメージやリズムを捉えて一人一人の個性を生かした表現や作品をまとめて発表したり伝承されてきた地域や風土などの背景や情景を思い浮かべて仲間やパートナーと踊ったりすることを通して身体を通して自由に自己を表現するとともに心を解放して誰とも楽しく交流するといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能を習得する。ダンスについての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスについて、作品の創作、踊り方、リズムの特徴などに関する名称や用語、それぞれのダンスには多様な表現につながる重要な動きや空間の使い方などのポイントがあることなどを理解すること。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して音楽に合わせて前進で自由に踊ったり、変化やまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ること。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに関する運動のおこない方、仲間と教えるなどの活動のしかた、健康・安全の確保のしかた、運動の継続のしかたのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適用したり、応用したりすること。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようにすること。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 9月	創作ダンス	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲する。 ・作品の展開や公正を工夫して発表する。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表された作品に対して、適切な評価を行う。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲、作品の展開や公正を工夫して発表できるようにする。グループで工夫してダンスを楽しみながら交流する。 	<p>行動観察</p> <p>ワークシート分析</p> <p>スキルテスト</p>
10月 から 12月	現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループで1つの作品をつくり発表し、お互いに評価する。【知・技】 ・ヒップホップなどの現代的なリズムに合わせて、リズムの取り方や身体の動かし方を工夫して、協力してダンスをつくりあげ発表する。【思・判・表】 ・現代的なリズムに乗って、グループで工夫をして踊りを楽しみながら交流する。【主】 	<p>行動観察</p> <p>ワークシート分析</p> <p>スキルテスト</p>

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツVI

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科3年
教科書		副教材等	Active Sports(大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツVI」で取り上げる体づくり運動は、運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができるといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 体づくり運動について、個人や対人及び集団で取り組む各種の技や技能を習得する。体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のみかた、課題解決の方法などを理解している。</p>	<p>【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくりの運動について、個人で取り組む運動の他に、ペアで行うもの、集団で取り組むものなどの運動について、正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体力を高める運動について、①大きな力を発揮する②スピーディな動き③動きを持続する④体の柔らかさを高める⑤動きの巧みさを高める⑥総合的に体力を高める、などの動きを正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のみかた、課題解決の方法などを理解する。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツVI」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や運動の組み立て方ができる。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにすること。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 か ら 12 月	ガイダンス ア 体ほぐし運動 イ 体力を高める運動"	【知・技】 ・「体づくり運動」学習の意義や内容、評価の方法を理解すること。 【思・判・表】 ・ペアストレッチングを行い、相手の体に気を配りながら身体各部の筋肉を伸ばす。 ・総合的なトレーニングの方法を理解し、実践することで筋力や持久力を高める。 ・エアロバイク等の利用方法を理解し、実践することで持久力を高める。 【主】 ・トレーニング場の利用方法や器具の正しい使用方法を身につけ、体力の向上を図る。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ概論Ⅲ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	スポーツ科学科 3 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

<p>1. 実習・体験・発表などの課題研究を通して、知識・技能の重要性を理解します。</p> <p>2. 情報の分析・評価、論述や熟考、評価などの言語に関する能力を身につけます。</p> <p>3. 自ら調べ、自ら学び実践していく能力を身につけます。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】</p> <p>健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】</p> <p>個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】</p> <p>個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。</p> <p>また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】</p> <p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ総合演習】 (1) スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3) スポーツを通じた社会参画に関する課題研究	・ガイダンス ・レポートの作成 ・プレゼンテーション資料の準備 発表までの行程を理解する。 レポート作成上の注意点や、評価基準を理解する。 パワーポイント作成用の資料準備を行う。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ総合演習】 (1) スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3) スポーツを通じた社会参画に関する課題研究	・研究レポートの作成 実験、調査、映像資料等の準備。 発表用パワーポイントデータの作成。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ総合演習】 (1) スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3) スポーツを通じた社会参画に関する課題研究	・課題研究発表会 プレゼンテーション資料の完成 展示資料の完成及び冊子の作成	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないうように積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始まりますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 8 年度 保健体育科 スポーツ総合演習

1 科目について

単位数	単位	学科・学年	スポーツ科学科 3 学年
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

<p>1. 体育・スポーツに関する知識を学ぶ。</p> <p>2. 運動の合理的な実践及び健康の増進と体力の向上に活用することができる資質や能力を育てる。</p> <p>3. コンピュータを使って体育・スポーツに関する情報を処理できるようにする。</p>

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。</p>	<p>【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>
<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。</p>	<p>【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。</p>
<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>	<p>【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード</p> <p>十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C</p>

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。
--

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
	(1) スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3) スポーツを通じた社会参画に関する課題研究	・ガイダンス ・レポートの作成 ・プレゼンテーション資料の準備 【知・技】発表までの行程を理解する。 【思・判・表】レポート作成上の注意点や、評価基準を理解する。 パワーポイント作成用の資料準備を行う。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
	(1) スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3) スポーツを通じた社会参画に関する課題研究	研究レポートの作成 【主】実験、調査、映像資料等の準備。 【思・判・表】発表用パワーポイントデータの作成。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
	(1) スポーツの知識や実践に関する課題研究 (2) スポーツの指導や運営及び管理に関する課題研究 (3) スポーツを通じた社会参画に関する課題研究	研究レポート作成 課題研究発表会 【知・技】プレゼンテーション資料の完成 【思・判・表】展示資料の完成及び冊子の作成	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 8 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>(アドバイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。 ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。 <p>(守ってほしい事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。 ・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること) ・貴重品の管理をしっかりと行うこと。
--

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3 年次	
教科書	なし	副教材等		

1 科目の目標

クラフト（工芸）の意味を理解し、生活の中のデザインへの関心を高める。
デザインの発想力と表現力の向上。技術の向上。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期		・名画手拭い	・名画を選び手拭いに描く。	・名画を写していく。 ・手拭いの布をボール紙に伸ばしてはる。	・意欲的に名画を選んだか。 ・布は綺麗に張れたか。
				・布がきペン、彩色ペンで名画に近づく様に描く。	・名画をよく見て、近づこうと努力したか、また、どの位近づけたか。
第2学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期		・バックルとベルト A ・革財布 B	A か B を選択してデザインする。	A・バックルを削って B・財布の革を裁断していく。 ・バックルを磨く ・革を染める。	・どちらもそれぞれの工程を綺麗にできたか。
				A・革を染める、こば、B・革を塗っていき、表、裏を磨いていく。こば、表、裏を磨いていく。	・革の処理（こば、表、裏）は丁寧にできたか。
第3学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期		・革と真鍮によるキーホルダー	・真鍮に刻印をして革に貼りキーホルダーをつくる。	・真鍮板に名前をこく印する。 ・革に貼り付け、キーホルダーの金具に装着する。	・刻印は綺麗に打てたか。 ・仕上げは綺麗にできたか。

単位数	2	学科・学年・学級	2 年次
教科書	高校生の音楽Ⅱ(音楽 の友社) コールユーブンゲン (大阪開成館) 新曲視唱(音楽之友社)	副教材	楽典(音楽之友社)

1 科目の目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 48 (ト長調) ・5 度音程 (No. 1~10) ・365 日の紙飛行機 ・旋律聴音でクラス分け ・和声聴音 (三声開離) ・No. 49~59 ・5 度音程 (No. 11~30) ・365 日の紙飛行機 ・涙そうそう, 遠くへ行きたい ・ハ長調, イ短調の旋律聴音 ・四声開離 (大譜表) ・新曲リズム 四分の四拍子 八分の六拍子, 十六分音符 ・6 度音程 (No. 1~20) ・時代 ・ヘ長調, ニ短調の旋律聴音 ・三声密集 (高音部譜表) ・No. 60~62 (転調) ・6 度音程 (No. 21~30) ・島人ぬ宝 ・ト長調, ホ短調の旋律聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト
第2学期	9 10 11 12	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 63~66 (転調) ・3 種の短音階 (No. 1~20) ・春よ、来い ・宇宙戦艦ヤマト ほたるこい ・四声密集 (大譜表) ・No. 67~70 ・3 種の短音階 (No. 21~30) ・7 度, 8 度音程 (No. 1~10) ・合唱曲の練習 ・変ロ長調, ト短調, ニ長調, ロ短調の旋律聴音 ・7, 8 度音程 (No. 11~30) ・合唱曲の練習 ・借用和音を含む課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト
第3学期	1	ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> ・コールユーブンゲン ・新曲 ・斉唱 ・聴音 	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習 ・合唱曲の練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト

単位数	2	学科・学年・学級	2年次・3年次 自由選択α、X
教科書	楽典(音楽之友社)	副教材	

1 科目の目標

音楽理論の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	五線の名称 音部記号 変化記号 異名同音 音符と拍 音程	楽典	教材 学習プリント ・五線の名称 楽譜を構成する上で必要な五線の名称について学ぶ ・音名 音楽に使われる音の高さにつけられた名称を、日本語のほか複数の多言語で学ぶ ・音部記号 さまざまな音部記号を理解する 変化記号・異名同音 変化記号・異名同音について理解する ・音符と拍 音符・休符の名称や五線への書き込み方、拍と拍子について理解する ・音程 音と音のへだたりを表す単位や完全系の度数、長短系の度数を理解する	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト
第2学期	9 10 11 12	音階 調	楽典	教材 学習プリント ・音階と調 長音階、短音階、全24調の仕組み、同主調、平行調、属調、下属調について理解する	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト
第3学期	1 2 3	和音 コード	楽典	4種類の三和音、セブンスコードについて理解し、演奏を行う。	・学習プリント ・期末テスト ・小テスト

令和8年度 芸術科 「絵画」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	3年次自由選択
教科書	光村図書 美術1・2	副教材	

1 科目の目標

絵画に関する学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション	美術って何のために学ぶの？	・美術を学ぶ意義を理解したうえで、今後の授業でどのように取り組んでいくかや、大切にしていきたいことを考える。	ワークシート
	5	絵画/表現	デッサンの準備 鉛筆の表現 デッサンの基礎 身近なもののデッサン	・デッサン用具の準備の仕方について理解する。 ・鉛筆のタッチや濃淡の表現について理解する。 ・デッサンとは何か理解する。パースや陰影の捉え方について理解する。 ・紙コップを鉛筆でデッサンする。	ワークシート 演習作品 振り返りシート
	6 7	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 モチーフ決め 転写 描きこみ 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・条件に合わせてモチーフを決める。 ・デッサン紙に転写する。 ・鉛筆を使って描きこんでいく。 ・作品の鑑賞会を行う。	作品 振り返りシート まとめレポート
第2学期	9	絵画/表現	アクリルガッシュの演習	・アクリルガッシュの特性や、絵筆の使い分け方について理解する。	演習作品
第3学期	10 11 12	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 モチーフ決め アイディアスケッチ エスキース 綿貼り 下描き 着彩 鑑賞会	・参考作品を鑑賞する。 ・条件に合わせてモチーフを決める。 ・構図や色の計画、全体の構想を練る。 ・キャンバスにおおまかにアタリを取る。 ・模造紙で綿を閉じこめて、のりで貼る。 ・鉛筆で下描きする。 ・アクリルガッシュで着彩する。 ・作品の鑑賞会を行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート
	1	絵画/表現 絵画/鑑賞	参考作品の鑑賞 テーマ決め アイディアスケッチ 試作 制作 授業のまとめ	・参考作品を鑑賞する。 ・条件に合わせてテーマを決める。 ・構図や色の計画、全体の構想を練る。 ・表現の方法を試す。 ・材料や用具を自分で選択し、制作する。 ・1年間のまとめを行う。	ワークシート 作品 振り返りシート まとめレポート

令和 8 年度 音楽科 「 器楽演奏法Ⅲ 」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	全学科・3年次 自由選択V、W、X
教科書	副教材のみ	副教材	バイエル(全音楽譜出版) ソナチネ(全音楽譜出版)

1 科目の目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4 5 6 7	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 各楽器の課題曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト
第2学期	9 10 11 12	器楽演奏	ピアノ	教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける	・実技テスト ・進度表
		器楽演奏	管弦打楽器	教材 自由曲 ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する	・実技テスト
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等

第3学期	1	器楽演奏	ピアノ	<p>教材「バイエル」「ソナチネ」進度表に記載されている課題曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につける ・曲の特徴を捉え、記譜されている音を正確に演奏する ・楽器を通して自己表現をする力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・進度表
		器楽演奏	管弦打楽器	<p>教材 スケール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴を理解し、演奏する ・表現形態の特徴や表現上の効果を理解し、演奏の基礎的な能力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト

令和 8 年度 芸術科 「書道Ⅲ」 シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	第3学年
教科書	書道Ⅲ（東京書籍）	副教材	

1 科目の目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書の成立と変遷 古典に学ぼう ①九成宮醴泉銘 ②蘭亭序 ③曹全碑 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書体の特徴と変遷について理解する。 古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 作品ごとの用筆と字形の特徴を理解し臨書する。 それぞれの表現の違いを理解し、その特徴を時代背景や人物を通して鑑賞する。 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	5				
	6	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 刻字作品を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 刻字の手順を理解し、構想を練り、制作する。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 篆書 篆刻を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 篆書の種類や成立過程を理解する。 篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、構想を練り、創作につなげる。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	10				
	11	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 創作をしよう ①半切作品 ②書初め 	<ul style="list-style-type: none"> 創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら臨書する。 年始の書初めにふさわしい語句で作品を仕上げる。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作す 	

	12			<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞しよう ・創作しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・創作の手順を理解し、作品の構成を練る。 ・構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 ・生活や社会における書の効用について考え、書の高さや美しさを味わって捉える。 	<p>活動の様子 意見発表 ワークシート 作品</p>

令和 8 年度 芸術科 「書表現」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	第3学年
教科書	書道 I (東京書籍)	副教材	

1 科目の目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書の成立と変遷 古典に学ぼう ①九成宮醴泉銘 ②蘭亭序 ③曹全碑 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書体の特徴と変遷について理解する。 古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 作品ごとの用筆と字形の特徴を理解し臨書する。 それぞれの表現の違いを理解し、その特徴を時代背景や人物を通して鑑賞する。 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	5				
	6	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 刻字作品を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 刻字の手順を理解し、構想を練り、制作する。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 	
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 篆書 篆刻を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 篆書の種類や成立過程を理解する。 篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、構想を練り、創作につなげる。 	活動の様子 意見発表 ワークシート 作品
	10				
	11	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> 創作をしよう ①半切作品 ②書初め 	<ul style="list-style-type: none"> 創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら臨書する。 年始の書初めにふさわしい語句で作品を仕上げる。 表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作す 	

	12			る。 ・各自の作品について、制作の意図を發表し、鑑賞しあう。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞しよう ・創作しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・創作の手順を理解し、作品の構成を練る。 ・構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について制作の意図を發表し、鑑賞しあう。 ・生活や社会における書の効用について考え、書によさや美しさを味わって捉える。 	活動の様子 意見發表 ワークシート 作品

令和8年度 家庭科「家庭科研究」シラバス

教科	家庭科	科目	家庭科研究	単位数	2単位
学級	3年次 A、D～I スポーツ科学科	教材・副教材	未来へつなぐ 家庭基礎 365 (教育図書) 生活ハンドブック (第一学習社)		

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを旨とする。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	B編 第2章 衣生活と健康	衣服の役割って何だろう	<p>【知・技】・被服の機能について理解している。 ・衣服が健康に与える影響について理解している。</p> <p>【思・判・表】・衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>・被服の社会的機能について、新聞、書籍、インターネットなどを通して資料を収集したり、調査したりしてまとめることができる。</p> <p>【主】・自身の衣生活の分析を通して、衣服に関心を持ち、現代の衣生活に関心を持つようとしている。</p> <p>・衣服で個性を表現しようとしている。</p> <p>・衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。</p>	ワークシート グループワーク
	5		衣服はどうやってつくられている？	<p>【知・技】・三原組織や編物の構造を理解している。 ・平面構成と立体構成の特徴を理解している。 ・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。</p> <p>【思・判・表】・衣服の原料から廃棄（再利用）までの流れを調べ、まとめることができる。</p> <p>【主】・社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。</p> <p>・被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	6	B編 第1章 食生活と健康	安全に食べよう	<p>【知・技】・食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をすることができる。</p> <p>【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。</p> <p>・調理の安全や衛生について具体的に考えている。</p> <p>【主】・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。</p>	ワークシート 実習 グループワーク
	7		健康に食べよう	<p>【知・技】・食中毒や食物アレルギーについて理解し、健康・安全を考えた調理をすることができる。</p> <p>【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。</p> <p>【主】・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。</p>	ワークシート 実習 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	B編第2章 衣生活と健康	衣服はどうやってつくられている？ 衣服の計画と管理	<p>【知・技】・布の縫い方など、基礎的な技術を身に付けている。</p> <p>・資源の有効利用の観点から、購入、活用、手入れ、再利用、廃棄まで考えた被服計画の必要性について理解している。</p> <p>・資源の有効利用まで考えた衣服の購入、再利用、廃棄までの衣服計画をたてることができる。</p> <p>【思・判・表】・自分の衣生活について、人と比較して意見を言うことができる。</p> <p>【主】・被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。</p> <p>・私たちの衣生活に関する文化や背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持っている。</p>	ワークシート グループワーク 実習 宿題
	10	A編第3章 子どもの生活と保育	子どもはどう生まれ育つ？ 子どもとどうかかわろう？	<p>【知・技】・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。</p> <p>・子どもの生活の概要を理解している。</p> <p>・少子化、育児不安、児童虐待、子どもの貧困など、現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、新聞・書籍・インターネットを活用したり、地域の関連機関へ調査に出向いたりして、資料を収集して調査することができる。</p> <p>【思・判・表】・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>【主】・自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	11	B編第1章 食生活と健康	私たちは何を食べているの？	<p>【知・技】・栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。</p> <p>・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。</p> <p>【思・判・表】・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、自身や家族の献立を考え、作成することができる。</p> <p>【主】・栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。</p>	ワークシート グループワーク 実習
	12		これからも食事をたのしむために	<p>【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。</p> <p>【思・判・表】・自給率の低下や外食・中食への依存など現在の食生活の問題について深く考えている。</p> <p>【主】・食生活の多様化や食環境の変化について知り、食生活と環境について科学的に考えようとしている。</p>	ワークシート 実習 定期考査

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	B編第3章 住生活と住環境	どのような家に住みたい？	<p>【知・技】・住居の平面図を読みとることができる。</p> <p>【思・判・表】・動線を考えて平面図を作成し、まとめたり発表したりすることができる。</p> <p>【主】・将来の住まい方について考えようとしている。</p>	ワークシート グループワーク
	2		<p>安全に住もう</p> <p>快適に住もう</p>	<p>【知・技】・安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解している。</p> <p>【思・判・表】・防犯、防火、耐震などの安全性が高く、日照、採光、換気、遮音などに配慮して健康的に住むことができる住居について考えることができる。</p> <p>【主】・住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。</p>	ワークシート グループワーク 定期考査